

平成 24 年 1 月 10 日

校長 高塚良則

3 学期の始業式に当たって

あらためて皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今年の干支は、辰ですね。この辰は 12 子の中で唯一、空想の生き物ですが「元気を出して、ふるいたつ」という意味があるそうです。みなさんも今年 1 年「元気よく、目標に向かって頑張ってください。」

このあけましておめでとうございますという言葉は、本来、毎年正月に各家にやってくる年神様に「豊作でありますように」「家族みんな元気でありますように」という願いをこめた言葉が「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします」という言葉になっているのです。

鏡餅は「ありがとうございます。」という感謝の気持ちを表した年神様へのお供えですね。私たちは一人では生きていくことができません。お互いに支えあって生活しています。いつも心に「ありがとうございます」という感謝の気持ちを持って生活していきたいですね。

さて、皆さんのこの冬休み、元気で過ごしましたか。

新年を迎えるにあたって、昨年の 1 年間の反省をし、そして新しい目標・誓いを立てましたか。しかし、なかなか目標を立てても、長く続かないこともあります。そのために「その目標を、紙に書いて部屋や教室に貼っておくとか」「自分が立てた目標を先生や友達、あるいはお父さんやお母さんに宣言する」とか「毎日、日記をつける」とかいろいろ自分なりに工夫して途中であきらめてしまわないようにすることが大切ですね。もし、途中で続かなくなった場合も、すぐにあきらめてしまうのではなく「その時から、もう一度チャレンジしていく」ことも大切なことです。「努力すれば報われることを信じて」一生懸命に挑戦してください。

最後に高等部 3 年生は、あと 3 カ月でこの学校を卒業し、社会に出ていきます。残りの学校の生活を十分に楽しんでください。充実したものにしてください。僕は・私はこの茨木支援学校でたくさんの友達や先生と出会えてよかった、たくさん学べてよかったという気持ちを持って卒業してほしいと思います。

この学校での思い出や友達が、いつまでもみんなの宝物になるように祈っています。

以上